

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 4 月 20 日現在

機関番号：82715

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25511020

研究課題名(和文)旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化学的研究

研究課題名(英文)A Cultural Study of Printed Advertising/Propaganda Materials in the Former Soviet Union

研究代表者

初山 昌夫(Momiyama, Masao)

神奈川県立近代美術館・普及課・主任学芸員

研究者番号：80393073

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,000,000円

研究成果の概要(和文)：国際的にも重要視されている松本瑠樹コレクションの中の旧ソヴィエト連邦のポスターのデータベースを作成し、美術史的分析に留まらない、分野横断的な文化学的考察を加え、検閲情報からポスターの制作年代が推定できることを示しました。また、同コレクションの中の宣伝グラフィック誌『ソヴィエト連邦建設』を画像データ化、書誌データのリスト化を行い、同誌の主要な装丁家ニコライ・トロシンに触れながら考察を加えました。

研究成果の概要(英文)：The principal investigator made a database of the Soviet posters in Ruki Matsumoto Collection, which were regarded as important internationally, viewed them not only from art-historical angles but also from interdisciplinary cultural-studies approaches, and illustrated that their production year could be presumed from their censorship information. He also made the image data from propaganda graphic magazine USSR in Construction in the same collection, listed their bibliographical data, and considered them, referring to Nikolai Troshin, principal designer of the magazine.

研究分野：文化学、美術史、ロシア・東欧研究

 キーワード：ロシア・アヴァンギャルド ソヴィエト連邦 ポスター グラフィック雑誌 検閲 ステンペルク 第一次五
 年計画 スターリン

1. 研究開始当初の背景

(1) 本研究分野の出発点

本分野の研究の嚆矢は、ニューヨーク近代美術館の建築・デザイン部門の学芸員クリストファー・マウントが調査研究し、1997年に同館で開催された展覧会「Stenberg Brothers: Constructing a Revolution in Soviet Design(ステンベルク兄弟—ソヴィエト・デザインの革命を打ち立てる)」です。その図録の中で、マウントは「ステンベルク兄弟のこの最初の研究は、グラフィック・デザインの特殊な分野やロシア構成主義運動の枠外ではほとんど見過ごされてきた資料を紹介するものである」と述べています。その時の研究対象であり、出品作品であったのが、日本のDCブランド「BA TSU」の創業者である故松本瑠樹氏の蒐集「松本瑠樹コレクション」の中のステンベルク兄弟がデザインした映画ポスターでした。このコレクションの背景には、1991年のソヴィエト連邦の崩壊によって、我が国を含む西側諸国で、旧ソヴィエト連邦のポスターなどの宣伝印刷物の収集が進んだことがあります。

その後、上記展覧会はヨーロッパを巡回し、日本では2001年に東京都庭園美術館で「ポスター芸術の革命 ロシア・アヴァンギャルド展 ステンベルク兄弟を中心に」として、松本瑠樹コレクションからステンベルク兄弟以外のポスターや他の宣伝印刷物が追加され、公開されました。その後、同コレクションの旧ソヴィエト連邦のポスターなどの宣伝印刷物は、国際的に重要視されながらも、まとまって公開される機会がありませんでした。

(2) 日本における研究動向

上記展覧会の他にも、1910年代から1930年代の旧ソヴィエト連邦の宣伝印刷物は、1998年の「美術と演劇 ロシア・アヴァンギャルドと舞台美術1900-1930 ロバーノフ＝ロストフスキー・コレクション」展(横浜美術館)や2010年の「ロトチェンコ+ステパーノワ—ロシア構成主義のまなざし—」展(東京都庭園美術館ほか)などの一部として紹介されてきましたが、それはまさにマウントが指摘した「グラフィック・デザインの特殊な分野やロシア構成主義運動」という範疇に限られる扱いでした。

一方で、2009年に開催された「東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵 無声時代ソビエト映画ポスター《袋一平》コレクション」展(東京国立近代美術館フィルムセンタ

ーほか)は、1951年に国立国会図書館が購入し、1974年に東京国立近代美術館フィルムセンターに移管された袋一平のコレクションを整理、公開したのですが、1930年前後に映画の配給とともに収集された当時のポスターが、当時、すでに展覧会などを通して我が国に紹介されていた事実を掘り起こすものとして、受容史の観点から新しい研究の可能性を提示するものでした。

(3) ロシア共和国における研究動向

ロシア共和国における研究動向も、「グラフィック・デザインの特殊な分野やロシア構成主義」という美術史的な枠組みを超えるものではありませんでした。グラフィック・デザインという観点からは、タチヤナ・トルスタヤが1900年代から1950年代のロシア(旧ソ連)のポスター史を概観しています(文献1)。また、旧ソヴィエト連邦の構成主義ポスターについてはエレナ・パールハトワの文献が、版を重ねているのみです(文献2,3)。

1. Tatyana Tolstaya, *Russkii plakat. Izbrannoe*, Moscow: Kontakt-Kultura, 2006.(露文)

2. Elena Barkhatova, *Russian Constructivist Posters*, Paris & Moscow: Flammarion, 1992.

3. Elena Barkhatova, *Konstruktivizm v sovetskoye plakate*, Moscow: Kontakt-Kultura, 2005.(露文)

(4) 本研究のきっかけ

2009年の「東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵 無声時代ソビエト映画ポスター《袋一平》コレクション」展図録に論考「ロシア・アヴァンギャルドの映画ポスター—東京国立近代美術館フィルムセンターのコレクションからステンベルク兄弟を中心に」を寄稿し、巡回先の京都国立近代美術館で「ロシア・アヴァンギャルドの映画ポスターとその周辺」と題して、20世紀前半のロシア帝国から旧ソヴィエト連邦のポスターの展開について講演したことが本研究のきっかけです。これらの準備段階で、ロシア革命から1930年代に制作されたポスターを中心とする宣伝印刷物についての従来の研究は、図像を中心とした美術史的な分析に留まっており、言葉や政治的、社会的背景にまで踏み込んだ分野横断的な研究が、本格的になされていないことに気付いたのです。

2. 研究の目的

松本瑠樹コレクションの中に2001年の東京都庭園美術館での展覧会で紹介された以上の資料の存在が確認できたため、本研究では、同コレクションに含まれる1910年代から1930年代の旧ソヴィエト連邦の宣伝印刷物の全容を把握することと、また、従来のデザインや構成主義を中心とする美術史的様式研究に留まらない分野横断的な文化学的研究を行うことを目的とし、下記のふたつを目標としました。

- (1) 国際的にも高い評価を得ている松本瑠樹コレクションに含まれる1910年代から1930年代の旧ソヴィエト連邦の宣伝印刷物の全容を把握し、データベース化すること。
- (2) 美術史研究に留まらず、政治史、社会史、経済史、文学、演劇史などの観点も併せた分野横断的な研究を行うこと。つまり、個々の宣伝印刷物が制作される政治的、社会的背景も明らかにすること。

3. 研究の方法

本研究は、下記のふたつの段階に分けて進めました。

- (1) 松本瑠樹コレクションの中の旧ソヴィエト連邦のポスターのデータベースを作成し、美術史的分析に留まらない、政治史、社会史、経済史、文学、演劇史などの観点も含めた分野横断的な考察を加える。
- (2) 同コレクションの中の宣伝グラフィ誌『ソヴィエト連邦建設』を画像データ化し、併せて書誌データをリスト化して、分野横断的な考察を加える。

4. 研究成果

(1) 旧ソヴィエト連邦のポスター

旧ソヴィエト連邦のポスターについては、平成25年度当初から調査とデータベースの構築を開始しました。その最初の成果報告の機会は、10月26日から翌平成26年1月26日に神奈川県立近代美術館 葉山で、その後同年9月30日から11月24日に世田谷美術館で開催された「松本瑠樹コレクション ユートピアを求めて ポスターに見るロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム」展でした。研究代表者は、その展覧会図録(図1)に、研究論文「グラヴリートの検閲番号等から特定されるポスター発行時期とその考察——旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化学的研究の一端緒——」(162-165頁)を公表し、それまで発行年が不明であったポスターについて、その周縁部に記された検閲番号を整理することによって、その制作年代や順番を推定でき

ることを示しました。

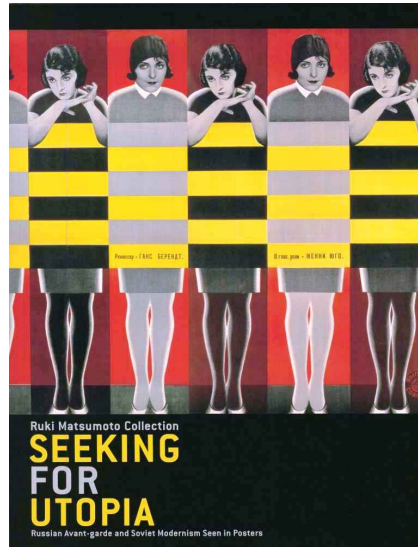


図1. 「松本瑠樹コレクション ユートピアを求めて ポスターに見るロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム」展図録、東京新聞、2013年

この図録の意義については、千葉大学の鴻野わか菜准教授が日本ロシア文学会の学会誌『ロシア語ロシア文学研究』46号(2014年10月)の書評(164-170頁)で指摘しています。

研究代表者は上記報告を補正する形で、平成25年11月17日に神奈川県立近代美術館で「ロシア/ソヴィエトのポスターの展開 1900-1933」と題する講演を、また、翌平成26年11月2日には世田谷美術館で「ロシア・アヴァンギャルドと国家」と題する講演を行いました。これらの講演を基に、『神奈川県立近代美術館年報2013』(2015年3月)には、研究論文「グラヴリートの検閲番号等から特定されるポスター発行時期とその考察の展開——旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化学的研究(2)」(50-52頁)を掲載しました。

この中で研究代表者は、旧ソヴィエト連邦のポスター史上きわめて重要な、ステンベルク兄弟が手掛けた最初の映画ポスター《愛のまなざし》の制作年代について再考すると共に、松本瑠樹コレクションのポスターと国立近代美術館フィルムセンターが所蔵する袋一平コレクションのポスターのデータを併せて分析し、当時の検閲についての幾つかの知見と、後者の中で発行年が明らかでなかったポスターの推定制作年代を示しました。その成果は、フィルムセンターの所蔵品データベースに反映されています。一方、この調査データは、独立行政法人科学技術振興機構が運用するデータベースResearchmap上に、平成27年5月から公開しています(http://researchmap.jp/masao_momiyama)。

(2) 『ソヴィエト連邦建設』

一方、宣伝グラフ誌『ソヴィエト連邦建設』の調査は、紙の劣化が著しいことから、平成26年度から神奈川県立近代美術館への寄託をお願いして、画像データ化と調査を慎重に進めました。『ソヴィエト連邦建設』は1930年から1941年までと1949年に全134号が刊行されましたが、その内、松本瑠樹コレクションには計117号があります。それらの造本と状態、全134号の寄稿者・装丁家、さらに、特集が明示されている号のテーマをまとめた「『ソヴィエト連邦建設』(1930 1941年と1949年)の特集テーマと寄稿者・装丁者リスト」(14 28頁)と、この調査に基づいた「『ソヴィエト連邦建設』の文化学的研究ノート(1)」(5 13頁)を『「旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化学的研究」報告書』(図2)に掲載しました。この報告書もResearchmap上に平成28年3月から公開しています。

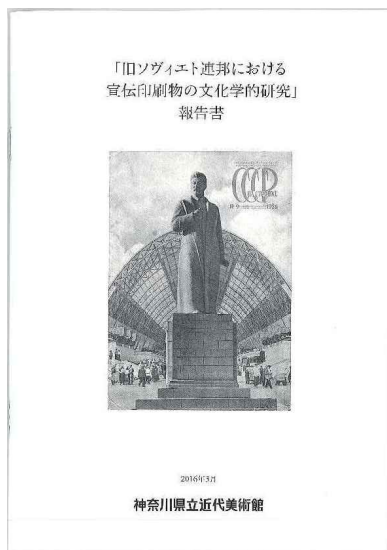


図2. 『「旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化学的研究」報告書』(神奈川県立近代美術館、2016年)

上記研究ノートでは、『ソヴィエト連邦建設』全体の3分の1以上の号を装丁していながらも、奇妙にも日本ではほとんど言及されることのなかったニコライ・トロースキン(1897 1990)について、また、同誌と社会主義リアリズムとの関わりや、スターリンの政治との関わりについて、同誌の記事などを引用しながら論じました。

以上が、科学研究費助成事業(学住研究助成基金助成金)基盤研究(C)「旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化学的研究」の成果

であり、本研究への助成に対してここに謝意を表します。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計3件)

初山 昌夫、グラヴリートの検閲番号等から特定されるポスター発行時期とその考察——旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化学的研究の一端緒——、松本瑠樹コレクション ユートピアを求めてポスターに見るロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム、査読無、2013、pp. 162-165

初山 昌夫、グラヴリートの検閲番号等から特定されるポスター発行時期とその考察の展開——旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化学的研究(2)、神奈川県立近代美術館年報 2013、2015、pp. 50-52

初山 昌夫、『ソヴィエト連邦建設』の文化学的研究ノート(1)、「旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化学的研究」報告書、2016、pp. 5-13

〔学会発表〕(計2件)

初山 昌夫、ロシア/ソヴィエトのポスターの展開 1900-1933、「松本瑠樹コレクション ユートピアを求めて ポスターに見るロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム」展記念講演会、平成25年11月17日、神奈川県立近代美術館 葉山(神奈川県・葉山町)

初山 昌夫、ロシア・アヴァンギャルドと国家、世田谷デザイン学校(特設)第3講、平成26年11月2日、世田谷美術館(東京都・世田谷区)

〔図書〕(計2件)

初山 昌夫 他、東京新聞、松本瑠樹コレクション ユートピアを求めて ポスターに見るロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム、2013、193

初山 昌夫、神奈川県立近代美術館、「旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化学的研究」報告書、2016、28

〔その他〕

ホームページ

http://researchmap.jp/masao_momiyama/

朮山 昌夫、ユートピアを求めて—ポスターに見るロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム展から映画ポスター《三銃士》を見る、ロシアン・アーツ、No. 15、2013、pp. 8-9

朮山 昌夫、松本瑠樹コレクションと袋一平コレクションに含まれる旧ソヴィエト連邦のポスターと検閲番号、researchmapでの研究データ公開、2015

6. 研究組織

(1)研究代表者

朮山 昌夫(MOMIYAMA, Masao)

神奈川県立近代美術館・普及課

・主任学芸員

研究者番号：80393073

(2)研究協力者

松枝 佳奈(MATSUEDA, Kana)

東京大学大学院・総合文化研究科

・博士課程